

平成5年7月1日現在 茨城県の人口(年齢別)

— 年少人口割合の低下・老年人口割合の上昇傾向は変わらず —

概 況

これは、茨城県常住人口調査結果のうち、平成5年7月1日現在の地域別及び市町村別人口を、年齢及び男女別に推計し取りまとめたものである。

1. 年齢3区分別人口(表一)

平成5年7月1日現在の総人口2,920,054人を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が529,175人、生産年齢人口(15～64歳)が2,004,542人、老年人口(65歳以上)が382,702人となり、総人口に占める割合は、それぞれ18.1%、68.6%、13.1%となった。

(1) 年少人口(0～14歳)

年少人口は戦後一貫して県人口に占める割合が低下しており、平成5年7月1日現在では、前年同期と比較すると0.6ポイント低下し、数で11,377人減少している。

(2) 生産年齢人口(15～64歳)

生産年齢人口割合は、ここ数年横ばい状態で推移しているが、平成5年7月1日現在では、前年同期と比較すると0.1ポイント上昇

し、数では18,917人増加している。

(3) 老年人口(65歳以上)

老年人口は数、割合とも戦後一貫して上昇を続けているが、平成5年7月1日現在では、前年同期と比較して0.4ポイント上昇し、数では14,830人増加している。

2. 5地域別人口

平成5年7月1日現在の年齢3区分別人口割合を県内5地域別にみると、年少人口割合は、鹿行地域19.3%を最高に以下、県西地域18.4%、県南地域18.0%、県央地域17.9%、県北地域17.6%の順となっている。

生産年齢人口割合は、県南地域の70.3%を最高に以下、県北地域68.1%、県央地域68.0%、県西地域67.8%、鹿行地域67.6%の順となっている。

老年人口割合は、県北地域が14.2%と最も高く、以下、県央及び県西地域がそれぞれ13.8%、鹿行地域13.0%、県南地域11.6%の順となっている。

(統計課・人口労働グループ)

表一 年齢3区分別人口の推移(平成4年・5年) — 茨城県 —

(単位:人, %, ポイント)

人 口	平 5 . 7 . 1 現 在		平 4 . 7 . 1 現 在		増 加	
	実 数 (A)	割 合 (C)	実 数 (B)	割 合 (D)	(A) - (B)	(C) - (D)
総 数	2 920 054	100.0	2 897 708	100.0	22 346	—
年 少 人 口	529 175	18.1	540 552	18.7	△ 11 377	△ 0.6
生 産 年 齢 人 口	2 004 542	68.6	1 985 625	68.5	18 917	0.1
老 年 人 口	382 702	13.1	367 872	12.7	14 830	0.4

- (注) 1. 総数には年齢不詳を含む。
2. 割合は小数点第2位を四捨五入。